

1

岐阜県の森林・環境を取り巻く状況を踏まえ、『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用した取組みを推進

直面した危機

岐阜県は、県土面積の81%が森林(全国2位)で形成される「木の国、山の国」であり、大小400以上もの河川が8つの流域を織りなす「川の国、水の国」です。古くから、こうした岐阜県の豊かな森林・清らかな川は、私たちの暮らしに大きな役割を果たし、また多くの恵みを与えてきました。

しかしながら、平成24年以前は、適切に管理されず荒廃した森林や、野生動物による農作物被害の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などが大きな問題となっていました。

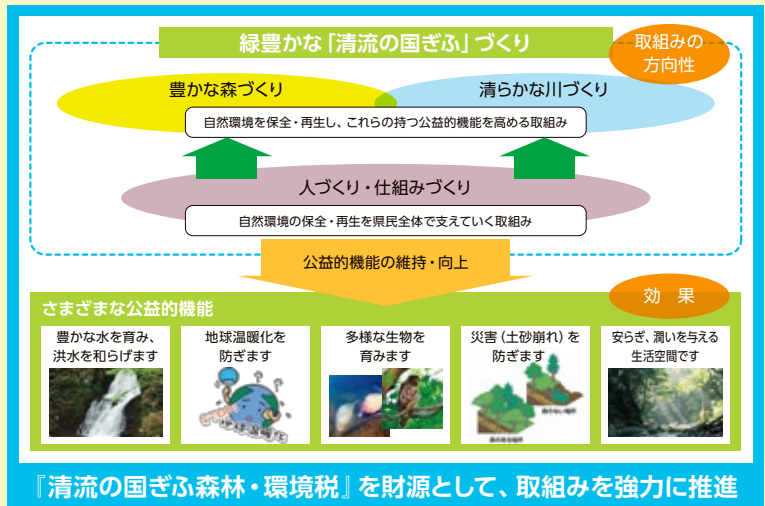
そして、これらの問題を放置した場合、私たちの安全・安心な生活環境が失われるとともに、地球温暖化や生物多様性の損失など、地球規模の環境にも悪影響が懸念される危機的な状況に直面していました。

危機への対応～

自然環境の保全・再生の取組み強化

喫緊の課題である地球環境の保全にも応えながら、本県のアイデンティティである「清流」を守り育て、緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを県民協働で推進しなければならないとの気運が高まりました。

本県の恵まれた自然環境を保全・再生し、森林や河川の持つ公益的機能をより高める取組みを早急、かつ、確実に進めて、森林や河川は県民の共有財産であるという認識のもと、これらの持つ公益的機能を県民が将来にわたり享受できるよう、『清流の国ぎふ森林・環境税』を平成24年度から導入し、自然環境の保全・再生を県民全体で支えていく取組みを進めてきました。



2

平成24～28年度の『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用した取組み

里山林の整備



5年間の目標 2,600ha整備
⇒ 2,649ha (102%達成)

※整備により、住民による手入れや活用がしやすくなったとの評価が寄せられています。

奥山林等の間伐の推進



5年間の目標 15,000ha整備
⇒ 12,509ha (83%達成)

※整備により、林内に光が入りやすくなるなど、森林環境の改善が図られています。

公共施設等の木造化、木質化 5年間の目標 65施設整備 ⇒ 41施設 (63%達成)



※子どもたちなどに「ぎふの木」や、ぎふの森林や川などの自然を身近に感じる体験を提供できました。

木育・環境教育の推進 5年間の目標 400校・園実施 ⇒ 547校・園 (137%達成)



NPO等の環境保全活動への支援

5年間の目標 130団体等支援
⇒ 182団体等 (140%達成)



※県民主体による森づくり・川づくりの活動が進みました。

有害鳥獣対策

⇒ ニホンジカの捕獲 15,683頭



※狩猟等の手法も含め、年間15,000頭の捕獲が必要とされる中、税事業が貢献しています。